

東京国立博物館・台東区立書道博物館 連携企画20周年



おう ぎ し らん てい じょ

王羲之と蘭亭序

Wang Xizhi and the Preface to the Orchid Pavilion Gathering

王羲之くん

単館では不可能な企画も、2館なら実現できる！中国と日本の書の魅力をご紹介してきた東京国立博物館と台東区立書道博物館との連携企画は、2023年に20周年を迎えました。今回は原点に回帰し、初回で取り上げた王羲之と蘭亭序に焦点をあてるとともに、後世における受容と展開を紹介します。国宝3件、重要文化財6件、重要美術品1件を含む、全214件！東京国立博物館で115件、台東区立書道博物館で99件を展示します。

※会期・開館日・開館時間・展示作品・展示期間、関連イベント・入館方法等については、今後の諸事情により変更する場合があります。最新情報は各館ウェブサイトでご確認ください。

会期：2023年1月31日(火)～4月23日(日) 前期：1月31日(火)～3月12日(日) 後期：3月14日(火)～4月23日(日)

※会期中、前期・後期以外にも、一部作品の展示替えおよび場面替え、頁替えを行います。

前期
1月31日(火)～3月12日(日)

後期
3月14日(火)～4月23日(日)

東京国立博物館 東洋館8室 TOKYO NATIONAL MUSEUM

開館時間 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日、2月7日(火) ※ただし、3月27日(月)は開館

観覧料 一般 1,000円 大学生 500円

・高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料です。入館の際に年齢のわかるものをご提示ください。
・障がい者とその介護者各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
・特別展「東福寺」(2023年3月7日(火)～5月7日(日))は別途観覧料が必要です。
・特別展観覧料で、特別展ご観覧の当日に限り、本展を含む総合文化展もご覧いただけます。



東京国立博物館公式キャラクター

住所 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

電話 050(5541)8600(ハローダイヤル)

ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

交通 JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅、京成電鉄京成上野駅より徒歩15分 ※駐車場・駐輪場はありません

台東区立書道博物館 CALLIGRAPHY MUSEUM

開館時間 9:30～16:30(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日

観覧料 一般・大学生 500円(300円) 高・中・小学生 250円(150円) ※ ()内は20名以上の団体料金

・毎週土曜日は台東区在住・在学の小、中学生とその引率者が無料です。
・障がい者手帳または特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者は無料です。

主催 (公財)台東区芸術文化財団

住所 〒110-0003 東京都台東区根岸2-10-4

電話 03(3872)2645

ウェブサイト <https://www.taitocity.net/zaidan/shodou/>

交通 JR鶯谷駅北口より徒歩5分

台東区循環バス「北めぐりん」⑬入谷区民館根岸分館(書道博物館)下車 徒歩3分 ※駐車場はありません



フセツくん



展覧会概要

魏晉時代は書が芸術として自覚され、多くの能書が輩出しました。なかでも東晋時代に活躍した王羲之(303～361)は、その最晩年に伝統の束縛から離れ、普遍的な美しさを備えた先進的な書法を獲得し、後に書聖と崇められています。

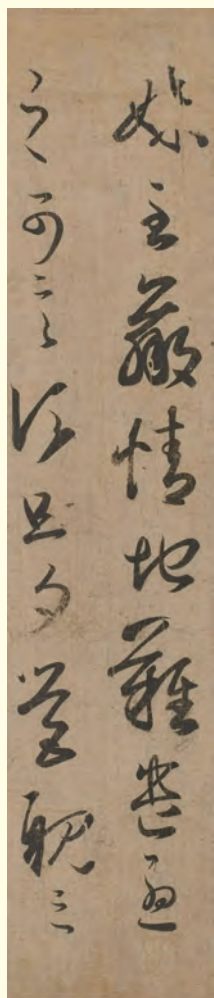
永和9年(353)3月3日、王羲之は会稽山陰(浙江省紹興市)の蘭亭に名士を招いて流觴曲水の雅宴を催し、宴で詠まれた詩集の序文を揮毫しました。これが世に名高い「蘭亭序」です。天地宇宙の理法をみつめ、人生への深い洞察を吐露した蘭亭序は、詩酒に興じた序文の草稿でしたが、王羲之も認める最高傑作となりました。

王羲之の書をこよなく愛した唐太宗は、苦心惨憺の末に入手した蘭亭序を、崩御に際して副葬させました。そのため蘭亭序の真跡は現存しませんが、太宗や高宗が作らせた模本や拓本によって、王羲之の書法は後世に受け継がれました。このたび20周年を迎える連携企画では、原点に回帰し改めて王羲之と蘭亭序に焦点を当てます。両館の展示を通して、王羲之書法や蘭亭文化のひろがりなど、文人たちの憧れの世界を存分にご堪能ください。

※以下の章立ては図録に基づいており、各館における実際の展示構成とは一部異なります。

第1章 王羲之の書

書聖と崇められる王羲之は、皮肉にも真跡が一つも現存しません。王羲之の字姿を伝える資料には、模本と拓本があります。模本は唐時代に、拓本は宋時代に最高水準に達したので、唐模宋拓と称して珍重しています。中でも宮中の専門職人が、王羲之の真跡を敷き写した精巧な模本は、王羲之の書の実像を伝える最良の資料です。宋時代には、洗練された紙や墨を用いて、簡便に多くの拓本を作る技術が確立され、王羲之の書は広く普及しました。



情感を書に盛り込んだ新機軸

妹至帖

原跡：王羲之筆 1幅

唐時代・7～8世紀模
九州国立博物館蔵
(東博展示・1/31～2/26、
書博展示・3/28～4/23)
(画像提供：九州国立博物館、撮影者：落合晴彦)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★☆☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★★



(部分)

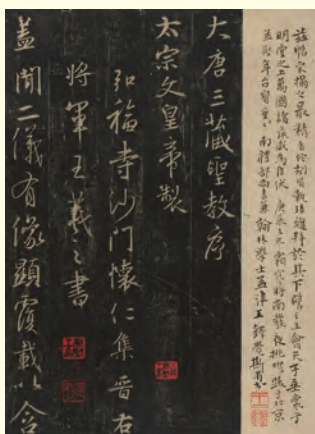
赤裸々に語る書簡はナマ資料

十七帖

原跡：王羲之筆 1帖

原跡：東晋時代・4世紀
江川吟舟氏寄贈
東京国立博物館蔵(東博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★★



(部分)

王羲之を集めて皆の渴癒し

集王聖教序(内庫本)

王羲之筆 1帖

唐時代・咸亨3年(672)
三井記念美術館蔵(書博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★★



第2章 蘭亭序と蘭亭文化の広がり

永和9年3月3日、王羲之は会稽山陰の蘭亭に41人の名士を招いて詩会を催しました。上流から觴を流し、觴の酒を飲みつつ詩を作り、詩ができないと罰として大きな觴の酒を飲まされる、文人ならではの雅宴です。王羲之は、宴で詠まれた詩集の序文を揮毫しました。これが世に名高い「蘭亭序」です。人生への深い洞察を吐露した蘭亭序は、酒が醒めた後、何度書き直してもこれ以上の作ができず、王羲之も認める最高傑作となりました。蘭亭での雅宴は、絵画や文房諸具の意匠となり、蘭亭序の文字は対聯をはじめとする詩文の世界へと広がります。



ぬか床のごときわが家の蘭亭序

ていぶらん ていじょ きよげん せんぼん
定武蘭亭序(許彦先本)

原跡:王羲之筆 1帖

原跡:東晋時代・永和9年(353)
高島菊次郎氏寄贈
東京国立博物館蔵(東博展示・前期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★☆☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆

(部分)



(部分)

来歴を知れば更なる情が湧き

ていぶらん ていじょ こへいさいぼん
定武蘭亭序(呉平斎本)

原跡:王羲之筆 1帖

原跡:東晋時代・永和9年(353)
三井記念美術館蔵(書博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★☆☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆

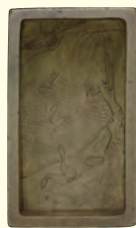


硯池裏ひっそり泳ぐ鷺鳥かな

らん ていとう がりよく せきしょうしゅ けん
蘭亭洮河緑石抄手硯

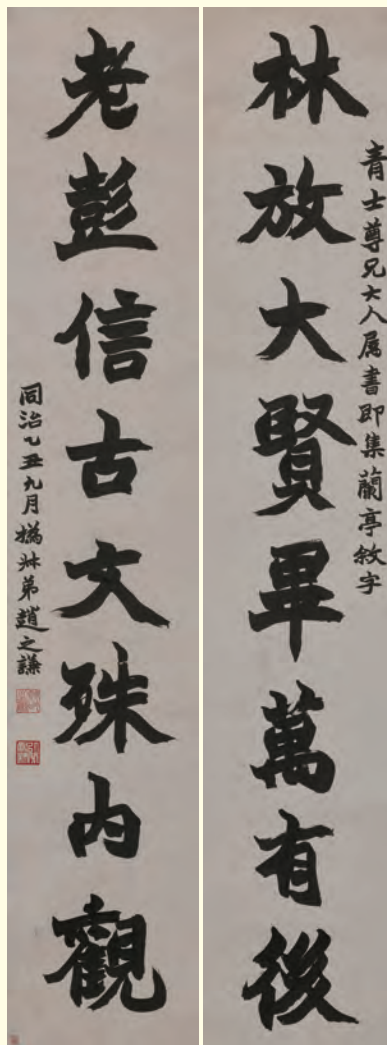
1面

明時代・14~17世紀
青山杉雨旧蔵 青山慶示氏寄贈
東京国立博物館蔵(東博展示・通期)



(背面)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★☆☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆



碑学派もはじめ王書で筆おろし

かいしよ はちごん れん
楷書八言聯

ちやうし けん
趙之謙筆 2幅

清時代・同治4年(1865)
青山慶示氏寄贈
東京国立博物館蔵(東博展示・前期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★★
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆



第3章 さまざまな雅集

王羲之が蘭亭で催した宴は、後世、文人たちの雅集のモデルとなりました。雅集には、唐時代に李白が参加した桃李園の宴、白居易のもとに集った老人たちの九老会、北宋時代に王詵の邸宅に蘇軾や黄庭堅らが集い、李公麟が画に、米芾が文に記した西園雅集などがあります。この他、三国・魏の末期、竹林に清談をした阮籍らの竹林七賢、唐の太宗が集めた秦府十八学士、杜甫の「飲中八仙歌」に詠われる八人の酒豪たちも雅集を楽しむ姿で描かれることがあります。



(部分)

蘭亭の全てのエキスをここにあり

蘭亭図巻(万暦本)

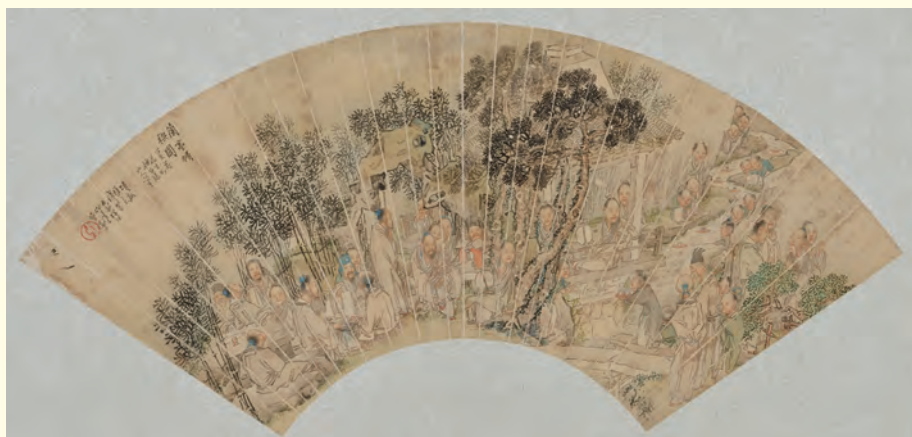
原跡:王羲之他筆 1巻

明時代・万暦20年(1592)

高島菊次郎氏寄贈

東京国立博物館蔵(東博展示・前期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★
先進度	★★★★
普遍度	★★★★
気韻度	★★★★



水温み羽さかずに笑みこぼれ

蘭亭修禊図扇面

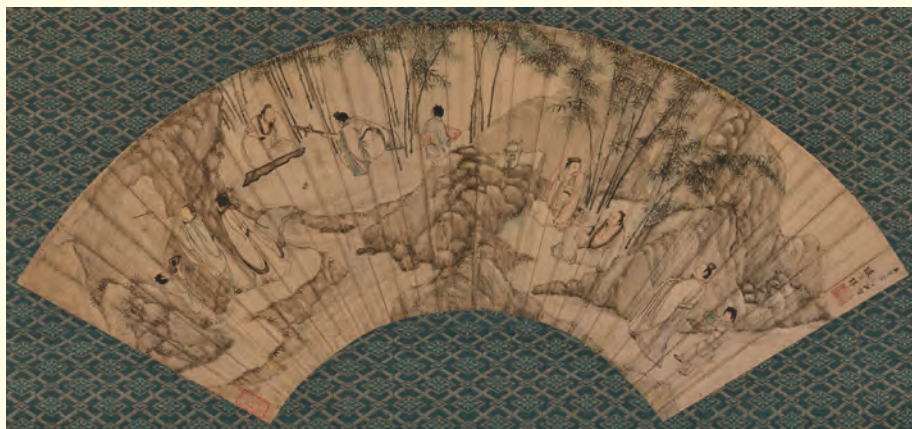
銭慧安筆 1面

清時代・光緒13年(1887)

青山慶示氏寄贈

東京国立博物館蔵(東博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★
先進度	★★★★
普遍度	★★★★
気韻度	★★★★



清らかに談じ現世の禍を逃れ

竹林七賢図扇面

盛茂燁筆 1幅

明時代・万暦40年(1612)

林宗毅氏寄贈

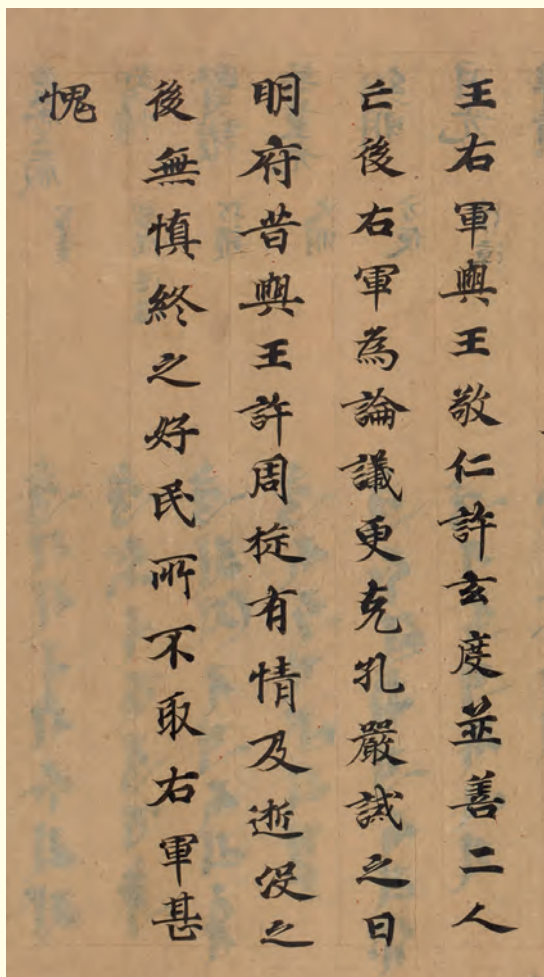
東京国立博物館蔵(東博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★
先進度	★★★★
普遍度	★★★★
気韻度	★★★★



第4章 南北朝、唐における王羲之書法の継承

南北朝から唐にかけて、歴代の皇帝は王羲之の書を好み、国家規模で収集が行われました。宮廷に集められた膨大な王羲之の真跡は、南北朝以来、王朝が交代するたびに、散逸を繰り返しました。皇帝たちを魅了した王羲之の書は、唐の第2代皇帝・太宗によって神格化されます。唐の第10代皇帝・肅宗の頃にはすでに得難くなっていた王羲之の書は、石碑や法帖などにその姿をとどめ、継承されていきます。



(部分)

蘭亭の最古の文献日の本に

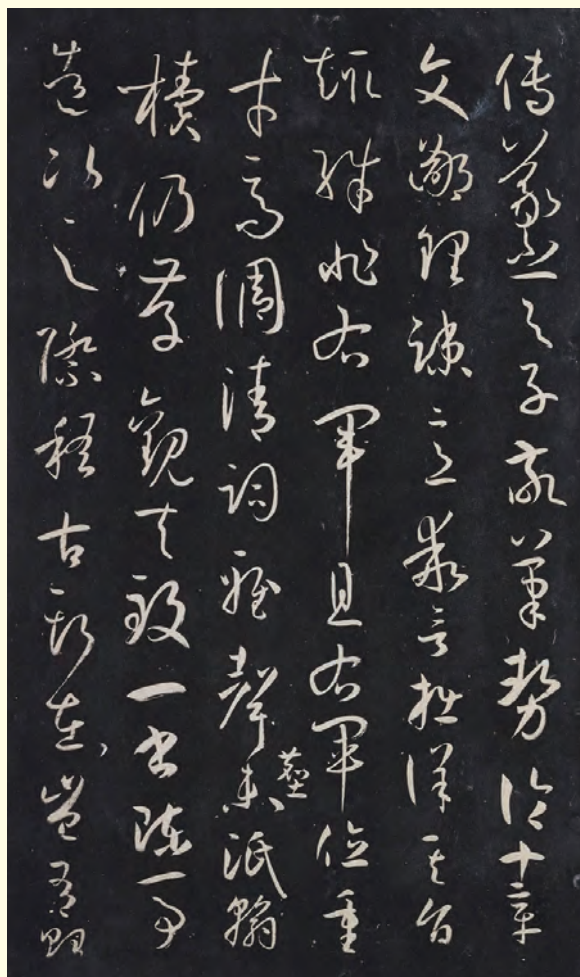
【国宝】世説新書卷第六残卷(規箴・捷悟)

1巻

唐時代・7世紀

京都国立博物館蔵(書博展示・2/28～3/26)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★



(部分)

王羲之を護り伝えた孫過庭

書譜(天津本)

原跡:孫過庭筆 1帖

唐時代・垂拱3年(687)

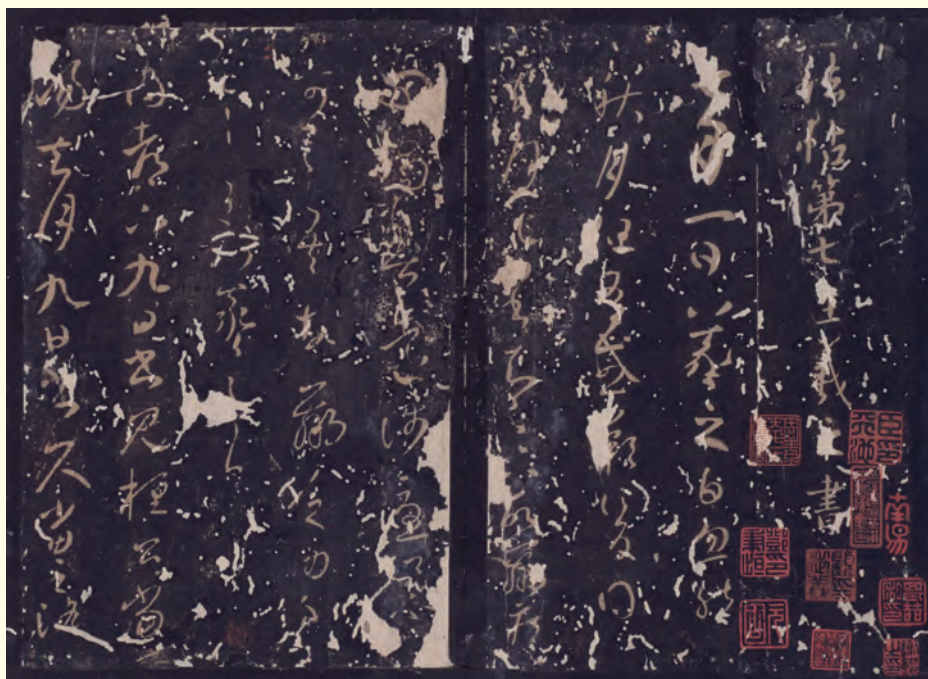
台東区立書道博物館蔵(書博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★



第5章 宋元明清における王羲之書法の展開

王羲之の書を重んじた宋の第2代皇帝・太宗は、歴代の名筆を収録した『淳化閣帖』を作らせ、王羲之の書を収録しました。『淳化閣帖』に代表される法帖は書の手本となり、民間でも各種の法帖が作られ、王羲之書法は広く普及します。法帖によって王羲之の書を学ぶ帖学は、書の歴史の主流を占めていました。しかし19世紀を迎える頃、石碑の拓本によって書を学ぶ碑学が勃興し、王羲之の書を絶対視する伝統は転換を迫られることになります。



(部分)

王羲之を集めてなんぼ皇帝業

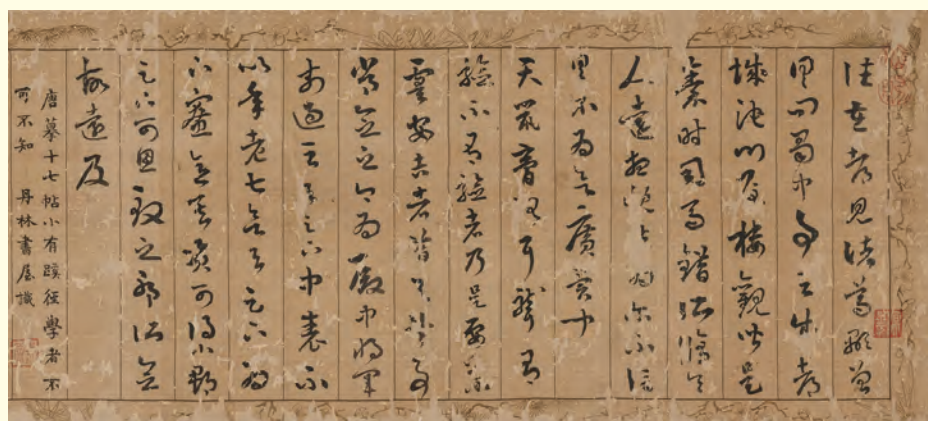
淳化閣帖(夾雪本)

王著編 2帖

北宋時代・淳化3年(992)

台東区立書道博物館蔵(書博展示・前期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★★
先進度	★★★★★
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★



(部分)

王羲之を肥え太らせて一家成し

楷行草雜臨古帖卷

劉墉筆 1巻

清時代・乾隆51年(1786)

高島菊次郎氏寄贈

東京国立博物館蔵(東博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★★
先進度	★★★★★
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★



第6章 日本における王羲之書法の受容

『扶桑略記』には、鑑真がいち早く「王右將軍真行書一帖」を将来したと記され、『国家珍宝帳』にも「王羲之書法廿卷」と記されるように、奈良時代には王羲之の書が珍重されていました。『性霊集』には、空海が唐より「王右軍蘭亭碑一卷」を持ち帰り、嵯峨天皇に献上したとあり、蘭亭序の拓本は、平安初期すでにわが国に舶載されていたことがわかります。江戸時代は、儒学の奨励を背景に王羲之の書を主軸とした唐様の書が流行します。絵画の世界でも、王羲之や蘭亭を題材とした作品が制作されました。



(部分)

興乗りて老婆に愛の筆ふるい

【重要文化財】王羲之書扇図軸

大巧如拙筆 1 幅

室町時代・15世紀
京都国立博物館蔵(書博展示・3/28~4/23)

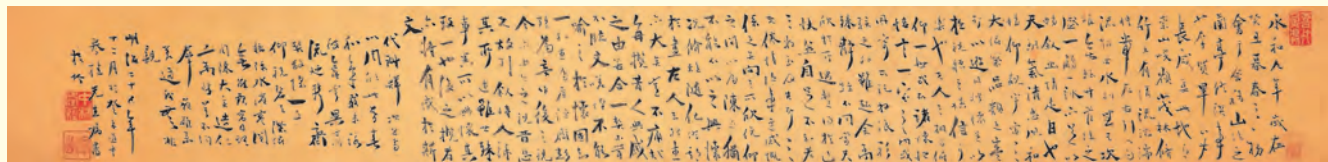
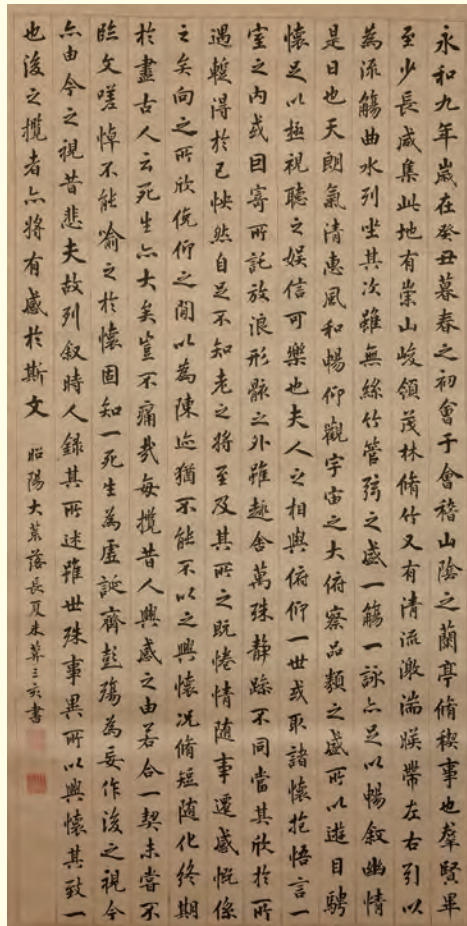
王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆

米庵の美意識うつす蘭亭序

蘭亭序軸
市河米庵筆 1 幅

江戸時代・天保4年(1833)
佐賀県立佐賀城本丸歴史館蔵
(本野克彦コレクション)(書博展示・通期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆



幻の梧竹蘭亭いまここに

蘭亭序額
中林梧竹筆 1 面

明治25年(1892)
小城市立中林梧竹記念館蔵(書博展示・通期)

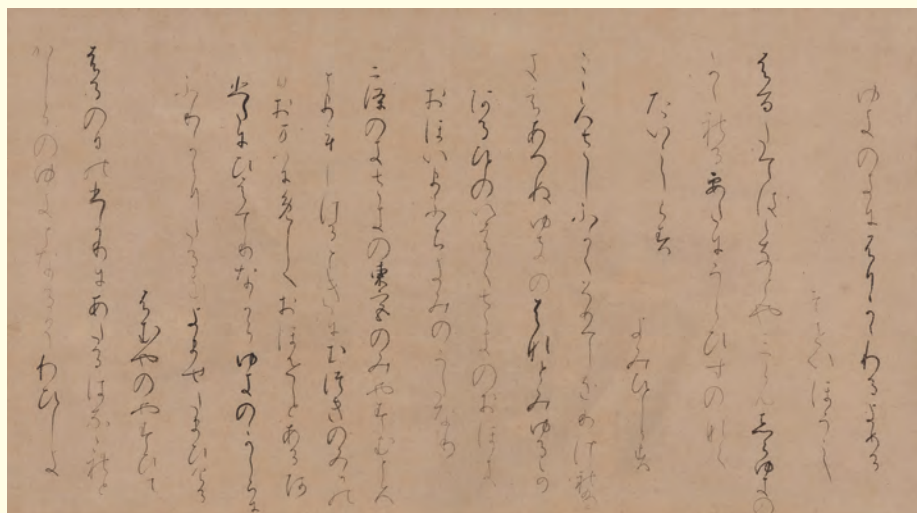
王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★☆
先進度	★★★★☆
普遍度	★★★★☆
気韻度	★★★★☆



第7章 変革者としての王羲之

三国・魏の鍾繇は、意識的・積極的に書体の進化に取り組みました。王羲之は、王廙や衛夫人から鍾繇の書を伝授され、書体進化に取り組み、最晩年に先進的な表現と普遍的な美を獲得します。唐人が王羲之の書法を法則化したのに対し、宋人は王羲之の書に見られる躍動する気韻の再現に心を砕きました。

遣唐使が廃止され、勅撰の古今和歌集が編纂された頃から、わが国では漢詩より和歌に重きを置きます。藤原道長が絶頂期を迎えた頃、王羲之の書とその書法を法則化した唐人の叡智を承けて、わが国の書芸術は完成したのです。



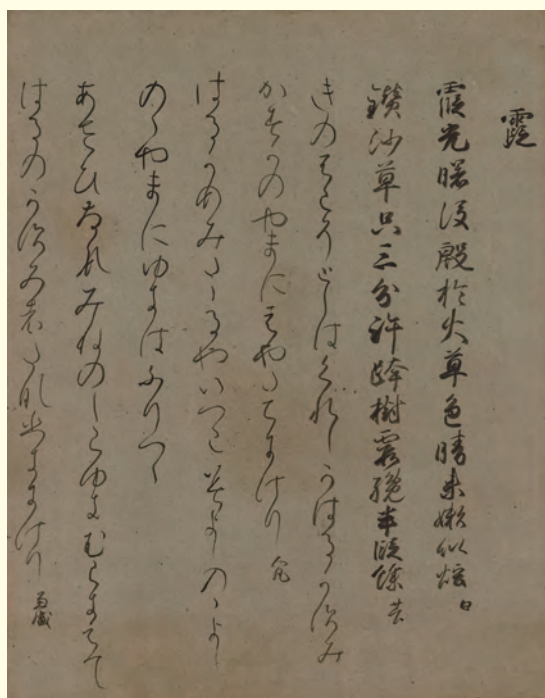
高野切ほんのり香る書譜のワザ

高野切第一種

伝 紀貫之筆 1幅

平安時代・11世紀
三井記念美術館蔵(書博展示・前期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★★
先進度	★★★★★
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★



漢詩和歌平安貴族の二刀流

和漢朗詠集断簡(関戸本)

源兼行筆 1幅

平安時代・11世紀
東京国立博物館蔵(書博展示・後期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★★
先進度	★★★★★
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★

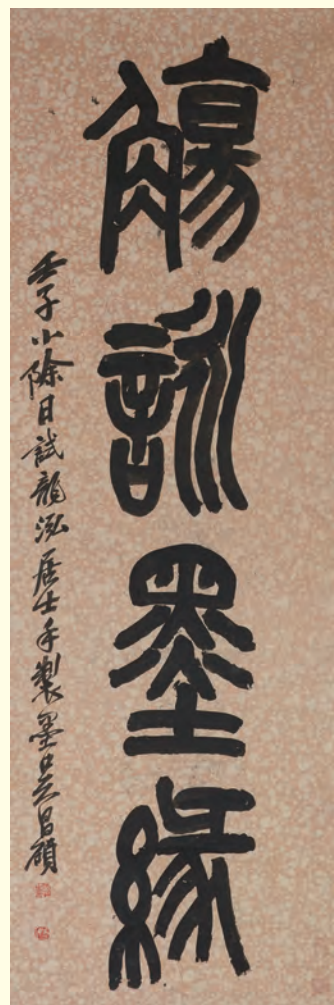
ゆく河の流れは絶えずして、
しかももとの鰭にあらず

篆書四字軸「鰭詠墨縁」

呉昌碩筆 1幅

中華民国元年(1912)
林宗毅氏寄贈
東京国立博物館蔵(東博展示・前期)

王羲之&蘭亭度	★★★★★
変革度	★★★★★
先進度	★★★★★
普遍度	★★★★★
気韻度	★★★★★



関連イベント

連携企画 20 周年記念講演会「なぜなに!? 王羲之&蘭亭序」

王羲之と蘭亭序のいろはから光と闇まで、その魅力と知られざるエピソードを語りつくします。

富田淳(東京国立博物館)、鍋島稲子(台東区立書道博物館)

日時:2023年3月24日(金)18:00~19:30

会場:ミレニアムホール(台東区生涯学習センター2F) 台東区西浅草3-25-16

定員:300名(事前申込制、応募多数の場合は抽選)

■ 申込方法

書道博物館ウェブサイトまたは往復はがきでお申込みください。

講演会の申込は、お1人につき1回までです。

申込締切:3月1日(水)

【往復はがきの場合】

「往信用裏面」に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、日時を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記し、下記までお申込ください。

申込先:〒110-0003 台東区根岸2-10-4 書道博物館 イベント係

*聴講無料

*応募結果については、メールまたははがきにてご連絡いたします。



王羲之くん



ワークショップ「王羲之の書に挑戦！」

2月19日(日)、3月12日(日)、4月9日(日)

会場:台東区立書道博物館 会議室

いずれも開館時間中随時、事前申込不要。ただし参加費:100円(材料費)が必要です。



唐太宗くん

報道関係の方からの問い合わせ先

「王羲之と蘭亭序」広報事務局 担当:富樫、大原

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-41 神保町SF1ビル206

TEL:03-6275-0241 / 携帯:080-5443-1112 E-mail:press@annex-inc.jp

